

1月27日(火)「6年 能の体験 和楽器体験」

1月27日(火)、6年生を対象に「能楽・和楽器体験学習」を行いました。観世流の山中様が、お見えになりました。能楽観世流の発祥の地である川西町結崎を拠点とした観阿弥・世阿弥父子の歴史を学び、おめでたい「謡(うたい)」で体験がスタートしました。今回は、當麻寺や中将姫にゆかりの深い、能の演目『當麻(たえま)』も教えていただきました。中将姫が曼荼羅を織り上げた伝説を題材にした能『當麻』の一節を、全員で練習しました。

和楽器体験では、小鼓、大鼓、太鼓、能管等の楽器を紹介していただき、教えていただきながら楽器を体験しました。貴重な楽器に触れ、その歴史の重みに背筋が伸びる思いでした。響き渡る謡の声の出し方について、「どうすればそんな声が出るのですか？」という子どもたちの質問に、先生は「毎日の稽古の中で工夫し、少しずつ出るようになっていくものです。」と教えてくださいました。また、舞台が終わった瞬間の静寂と達成感についても貴重なお話を伺うことができました。自分たちの住む當麻の地が、古くから大切にされ、今もこうして能の物語として語り継がれていることを再発見した一日となりました。ご指導いただいた先生方、本当にありがとうございました。

